

2024 年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 shining

1 事業の成果

昨年より続く物価上昇の影響により、食に関する不安を抱える子育て世帯からの相談が増加しました。そこで、定期的にフードパントリーを実施し、延べ 560 世帯・1,792 人に食料を配布しました。この取り組みには、困難を抱える家庭を支援するための助成金を活用し、特に収入が減少し支出が増加しているひとり親家庭を中心に支援を行いました。

鈴鹿子ども食堂「りんごの家」は、毎月第 3 土曜日に開催し、延べ 511 名（大人 173 名、子ども 284 名、乳幼児 54 名）が参加しました。また、保健師による子育て相談の場を設け、不安や孤独感の軽減に努めました。

不登校の子どもたちの居場所づくりとして、「みんなの居場所ラピュタすずか」を週 2 回開設。3 月には試験的に中高生の部を実施し、4 月からの本格開設に向けて子どもや保護者への聞き取り調査を行いました。本事業は三重県よりフリースクールとして認定を受け、保護者に補助が出るようになったことで、経済的な負担が軽減されました。補助には条件があるため、今後も補助の拡充を提案していきます。年間では 101 日開設し、延べ 516 名が参加しました。

不登校児童やひとり親家庭など、困難を抱える家庭に向けて夕食付きの無料学習支援を月 2 回開催し、年間計 48 回、延べ 258 名が参加しました。

また、保護者や学生の声を受けて開始した制服リユース事業には 216 名が利用。行政や社会福祉協議会の協力により、回収の体制が整いつつあり、活動の広がりを感じています。

今年度も、鈴鹿市社会福祉協議会より「要支援対象児童等見守り強化事業」を受託し、延べ 484 世帯・1,742 名に訪問支援を行い、子どもの見守り活動を実施しました。

また、鈴鹿市および鈴鹿市社会福祉協議会と連携し、「すずっこ食堂ネットワーク（市内子ども食堂ネットワーク）」を構築。当団体はその代表および事務局を担い、市内の中学校区ごとに 1 つの子ども食堂の開設を目指しています。数年前は市内に 1 つしかなかった子ども食堂が、現在では 15 団体に増加しました。

年間を通じて、多角的な子どもの居場所づくりと保護者支援を展開し、合計で延べ 5,781 名の子どもと保護者と関わりを持つことができました。各種助成金・補助制度を活用し、県外団体との連携も進展しており、活動のヒントやアドバイスも得られています。

市内・県内の団体や企業との連携も昨年度より進展し、地域住民が子どもたちと関わり、見守る場を広げられたことは、大きな成果と考えています。行政や社会福祉協議会との情報共有・連携も深化しており、今後も「民間だからこそできる支援」と「行政・福祉協議会にしかできない支援」を組み合わせ、途切れのない支援体制を目指します。

今年度は行政・学校・社会福祉協議会と連携し、若者支援を本格的に開始する予定です。支援を必要とする子育て世帯とのつながりを継続し、「助けて」と声を上げられる地域づくりを推進していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数 (延べ人数)
地域交流の場の提供	1. 鈴鹿子ども食堂 “りんごの家” 開催 2. フードパントリー	1・2. 毎月第3 土曜日	1・2. 鈴鹿市内	5人	1. 親子 511 人 2. フードパントリー 484 世帯 1742 人
地域の情報発信、収集	子育て応援サイトの開設	随時	HP 内	1人	親子
乳幼児、高齢者虐待等 社会問題に対する予防 活動	みまもりんごストラップ普及活動	随時	鈴鹿市内	2人	地域の 大人・子ども
地域交流の場の提供	1. 子ども達のやりたい！ やってみようを育てよう 2. 子ども楽市・子ども店長 3. みらいのたからばこ× shining	3/23	鈴鹿市内	10人 5名 5名	1. 親子・地域の人々 1060 人 2. 子ども 10 名 3. 親子・地域の人々 1692 名
乳幼児、高齢者虐待等 社会問題に対する予防活動 待等社会問題に対する 予防活動	要支援対象児童等 見守り強化事業	毎月 第 2. 4 金曜 土曜日	鈴鹿市内	24人	子育て世帯 延べ 45 世帯 1792 名
地域の情報発信、収集	すずっこ食堂ネットワーク 事務局・代表	随時	鈴鹿市内	2	親子 鈴鹿市内の子ども食堂
乳幼児、高齢者虐待等 社会問題に対する予防 活動	自然探検隊	月 1 回	鈴鹿市 津市	4人	小学生から中学生 延べ 213 名
	高学年キャンプ	8/3. 4	四日市市	3名	小学生～中学生 10 名
地域交流の場の提供	ボードゲーム倶楽部 (ボードゲームを通じた多 世代交流)	毎月 第 2. 4 土曜日	鈴鹿市内	2名	主に小学生から中学生 延べ 115 名
乳幼児、高齢者虐待等 社会問題に対する予防 活動	スタッフ・ボランティア 向上研修	年 7 回	鈴鹿市内	1名	スタッフ ボランティア 20 名
乳幼児、高齢者虐待等 社会問題に対する予防 活動	フードライブポストの設置	随時	鈴鹿市内	2名	困窮世帯へフードパン トリーを通して分配 各子ども食堂への分配
乳幼児、高齢者虐待等 社会問題に対する予防 活動	ホンダ技研工業里山保全活 動への参加	5/11 11/23	菰野町	3名 3名	大人 12 名子ども 23 名 大人 13 名子ども 22 名

乳幼児、高齢者虐待等社会問題に対する予防活動待等社会問題に対する予防活動	不登校生徒支援事業「みんなの居場所ラピュタすずか」				
	1. 不登校生徒のための居場所づくり	1. 毎週火金曜日	1. 鈴鹿市内	1. 2 人	1. 小学生～高校生 延べ 516 人
	2. 学習支援	2. 第 2. 4 土曜日	2. 鈴鹿市内	2. 1 人	2. 小学生～中学生 延べ 258 名
	3 保護者面談会	3. 年 2 回	3. 鈴鹿市内	3. 2 人	3. 保護者 6 人
	4. アウトリーチ	4. 月 4 回	4. 鈴鹿・津市	4. 2 人	7. 小学生 2 名 保護者 2 名
乳幼児、高齢者虐待等社会問題に対する予防活動	フードバンク事業	随時	鈴鹿市内	2 人	取扱量 3. 4 トン
	LIN 相談	随時	LINE	4 人	困りごとがある人々
乳幼児、高齢者虐待等社会問題に対する予防活動	制服リユース事業	随時	鈴鹿市内	2 人	市内の子育て世帯